

# アルファテック380 (S/W)

アルファテック380は、塗布して浸透する高性能なエポキシ接着剤です。コンクリートのひび割れに表面から塗布することで、毛細血管現象により浸透接着してコンクリートを強化することから、土木 建築コンクリート構造物のひび割れ補修に優れた機能を発揮します。



JWWA K 143(水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法)適合品  
 JWWA Z 108(水道用資機材-浸出方法)適合品

## 主な特徴

- ひび割れ表面からハケやローラーで塗布して毛細血管現象で浸透します。
- 下向きはもとより上向きや横向きのひび割れに浸透接着します。
- 高い接着・圧縮・曲げ・引張強度と耐久性能に優れます。
- 乾燥面と湿潤したコンクリートの接着性能に優れます。
- 低粘度で可使用時間が長く施工性に優れます。
- 無溶剤で揮発物成分がなく接着性能に優れます。

## 主な用途

- 上向きや横向面のマイクロクラックから0.5mm程度のひび割れ浸透接着補修。
- 下向き面のマイクロクラックから1mm程度のひび割れ浸透接着補修。
- セメント系断面修復材のタックコート。

## 使用方法

- ①マーキング：ひび割れの幅と長さを確認しマーキングして下さい。
- ②下地処理：ダスター刷毛やエアスプレーなどでひび割れを清掃して下さい。  
 ◇降雨時及びひび割れ内に滞留水がある時は施工ができません。
- ③汚れ防止：マスキングテープやシートなどでコンクリートの汚れ防止をして下さい。
- ④樹脂混合：主剤(淡黄色)と硬化剤(青色)を容量比2:1で必要量取り分け、均一になるまで充分に混合して下さい。  
 ◇過度攪拌による気泡混入に注意して下さい。  
 ◇一度に混合する量は可使用時間内に使い切れる量として下さい。
- ⑤塗布浸透：ひび割れ表面からハケやローラーで樹脂を塗布して、ひび割れへの吸い込みを待って、樹脂寄せと再塗布を行い、  
塗布⇒含浸⇒ひび割れが浮き出る⇒塗布を繰り返して下さい。  
 ◇使用量はmあたり20～50gが目安となります。面で塗布する場合はmあたり200～250gが目安となります。
- ⑥仕上処理：可使用時間を経過しゲル化した樹脂でひび割れの凹みを埋め、余分な樹脂を取り除いて下さい。  
 初期硬化後コンクリート表面の硬化樹脂をサンディング除去またはコンクリート保護塗装材・アルファコートU上塗などで塗装して下さい。

【施工時の温度目安：S(夏用)15℃以上、W(冬用)5℃～20℃】

## テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)	アルファテック380S(夏用)		アルファテック380W(冬用)	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	淡黄色	青色	淡黄色	青色
外観(混合)	淡青色		淡青色	
混合比(重量)	100	43	100	43
混合比(容量)	2	1	2	1
粘度(混合)	400±100mPa·s		350±50mPa·s	
比重	1.11±0.05		1.11±0.05	
可使用時間(300gスケール)	55分		30分	

テクニカルデータ

1. JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)品質規格に基づく試験

NEXCO 構造物施工管理要領表3-2-1 ひびわれ注入工法用エポキシ樹脂系ひびわれ注入材の品質規格1種に基づく試験  
国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品

(註)MF:セメントモルタル破壊

試験項目		品名	アルファテック380S	アルファテック380W	JIS規格値	NEXCO・国交省規格値
試験条件		試験結果		試験結果		
粘性	粘度 (mPa・s)	23±0.5°C	350	319	100~1000	1000 以下
接着強さ (MPa)	特殊条件	標準条件	8.8 MF	7.8 MF	6.0 以上	6 以上
		低温時	-	6.7 MF	3.0 以上	-
		湿潤時	8.3 MF	6.3 MF	3.0 以上	3 以上
		乾湿繰り返し時	8.0 MF	6.6 MF	3.0 以上	-
硬化収縮率 (%)	標準条件 (7日間)	1.4	1.6	3.0 以下	3.0 以下	
加熱変化	質量変化率 (%)	110°C×7日間	3.4	3.8	5 以下	-
	体積変化率 (%)	110°C×7日間	3.3	3.2	5 以下	-
引張強さ (MPa)	標準条件 (28日間)※	26.5	35.2	15.0 以上	-	
引張破壊伸び (%)	標準条件 (28日間)※	9.2	3.5	10.0 以下	-	
未硬化の注入材	可使時間 (分)	70	33	-	30以上	
硬化した注入材	接着力耐久性保持率 (%)	76	80	-	60以上	

※アルファテック380は、0.5mm程度までのひび割れ部分に塗布のみで浸透し、かつ湿潤面への接着も可能とする接着剤です。

このアルファテック380をひび割れ部分により多く含浸させるため、初期硬化を抑え、浸透時間を長く保持できるよう配合しております。  
この特性により、28日の硬化養生時まで最大強度が上昇します。

2. NEXCO 構造物施工管理要領表3-5-2 プライマーひびわれ含浸性能適合品

(註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W	規格値
ひび割れ接着強度	N/mm <sup>2</sup>	試験法-426	23°C×7日	2.9 CF	3.0 CF	2.0N/mm <sup>2</sup>

3. NEXCO 構造物施工管理要領(平成18年10月版)表3-11-5 付着力に関する品質規格適合品

(註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W	規格値
付着強度	N/mm <sup>2</sup>	試験法-412	23°C×7日	2.0 CF	2.0 CF	1.5N/mm <sup>2</sup>

4. 硬化樹脂の性状

(註)COF:接着剤破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W
圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024	23°C×7日	15	60
			23°C×14日	25	-
			23°C×28日	30	-
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7171	23°C×7日	5	15
			23°C×14日	20	40
			23°C×28日	25	-
引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7161	23°C×7日	8	30
			23°C×14日	15	-
			23°C×28日	23	-
引張せん断接着強さ (鋼材相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6850	23°C×7日	15 COF	15 COF

※本記載の物性は当社研究室で採取した代表試験結果であり保証値ではありません。

容器形態

【10kg / 9L セット】

主 剤 7kg (角缶)  
硬化剤 3kg (角缶)

【1kg / 0.9L セット】

主 剤 0.7kg (アルミパック)  
硬化剤 0.3kg (アルミパック)

※製品改良のため予告なく記載事項を変更することがあります。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読みください。

**アルファ工業株式会社**  
**ALPHA KOGYO K.K.**

横 浜 本 社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550  
URL:https://alpha-kogyo.com / E-mail:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp  
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN  
神 戸 事 業 所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282  
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN